

Governor's Monthly Letter

地区スローガン

「行動し、実践することにより、“ロータリーの輪”を広げよう」

2022-2023年度 ガバナー 森本 芳宣

12月は「疾病予防と治療月間」です



イマジン
ロータリー

2022-2023年度 R I テーマ

国際ロータリー 第2640地区 ガバナー事務所

〒640-8331

和歌山市美園町3丁目34番地 けやきONE 301号室

TEL 073-426-2640 FAX 073-426-2660

URL <http://rid2640g.com/morimoto>



目次

RI会長 12月のメッセージ	1
12月のガバナーメッセージ	2
疾病予防と治療月間	3
メルボルン国際大会に数多くのご参加を！	4
2023年ロータリー国際大会	5
ロータリー財団地域セミナー	6
ガバナーエレクト研修(GETS)に参加して	7
ガバナーノミニー研修(GNTS)に参加して	8
2022-2023年度 地区大会の報告	9

【RIニュース】

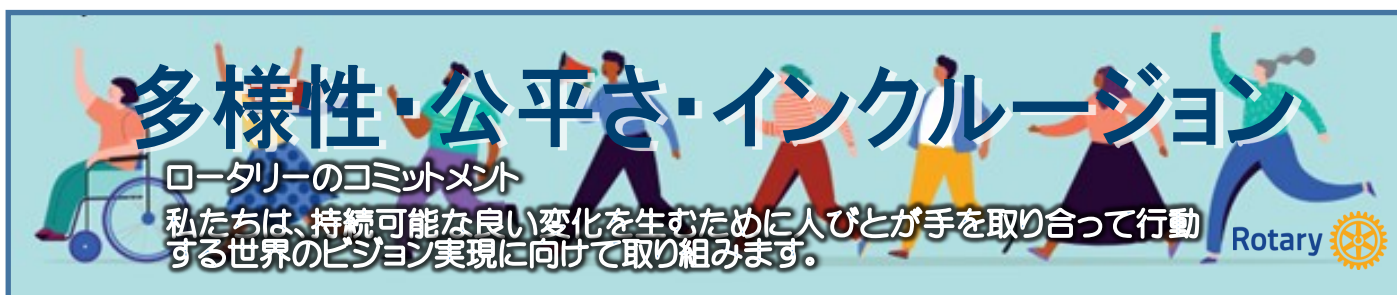
国境なき調停者団インターナショナルとの協力	10
消えゆくオオカバマダラ生息地の復元	11

【地区活動報告】

規定審議会の経過と定款・細則の主な改正	12
IAC国内研修オリエンテーション	13
慶風高校にIAC設立、認定状伝達	14

【クラブ活動報告】

ウクライナ難民サポート教育施設支援 泉佐野RC	15
少年野球大会を主催 和歌山北RC	16
JR和歌山駅前の花壇の植え替え 和歌山市内9RC	17
新会員の紹介 / 訃報	18
ハイライトよねやま Vol.272	19-20
コーディネーターニュース12月号	21-22
会員数報告(2022年10月)	23
My Rotary 登録状況(2022年11月)	24
12月の行事予定	25



ロータリーのビジョン声明

私たちは世界で、地域社会で
そして自分自身の中で
持続可能な良い変化を生むために
人びとが手を取り合って
行動する世界を目指しています

より大きな インパクトをもたらす
参加者の 基盤を広げる
参加者の積極的な かかわりを促す
適応力を高める

ロータリーの中核的価値観

親睦
高潔性
多様性
奉仕
リーダーシップ
Rotary

世界的疾患との闘いと希望

ザンビアの首都ルサカの郊外で、ロータリーのリーダーたちと会った際に、私はこう尋ねました。「マラリアにかかったことのある方はいますか」。すると全員の手が挙がりました。しかもマラリアにかかった1度目、2度目、3度目の経験について話し出したのです。マラリアは多くの開発途上国において、病氣と死亡の主因の一つになっています。

しかしこの方々は恵まれた人たちです。医療を受けられて、命を救う薬を手に入れられたのですから。ザンビアの農村部に暮らす方々とは、状況が全く異なります。

私は小さな農村を訪れ、木のベンチに腰かけて、ティモシーとその若い息子のネイサンと話しました。カメラクルーがこの様子を撮影中、ネイサンにマラリアの兆候が現れた時のことをティモシーが話してくれました。近所の医療従事者の家にすぐに連れていき、そこでもらった薬でネイサンは、一命を取り留めたそうです。

ティモシーはまた、数年前に別の息子がマラリアにかかったことを静かに話し始めました。その時は、子どもを抱えて8km以上離れた診療所へと駆け付けなくてはなりません。その子を背負って自転車をこいでいた時に、息子の足が冷たくなって小さな体から力が抜けていくのを感じたと言います。ようやく診療所にたどり着き、助けを求めて叫びましたが、もう手遅れだったそうです。カメラは撮影を止め、その場が静まり返りました。嗚咽しているティモシーを私はしっかりと抱き締めました。「息子を亡くした。息子を亡くしました」と、彼は声を絞り出すようにして言うのでした。

ザンビア滞在中に、これと同じような話を私たちは何度も耳にすることになりました。それでも、希望はあります。ザンビアでマラリアと闘う「マラリアのないザンビアのためのパートナー」が大規模プログラム補助金初の対象として選ばれ、人々の命を救っています。ザンビアの二つの州では、2,500人のボランティア医療従事者が地域社会から選出されています。彼らは医療を必要とする人々へ医療を届けるための訓練を受け、マラリアやその他の疾患を診断し、治療することができるようになっています。

R I 会長メッセージ

R I 指定記事



イマジン
ロータリー



ジェニファー・ジョーンズ
2022-23年度 国際ロータリー (R I) 会長

PRESIDENT'S MESSAGE



ロータリー研究会で日本来訪中のジェニファー・ジョーンズ会長

ガバナー メッセージ

ガバナー 森本 芳宣

疾病予防と治療月間に寄せて

2020年に始まった新型コロナウイルスのパンデミック(世界的流行)は現在も新たに第8波の流行となっており、生活及びロータリー活動においても大きく影響が出ています。

7月より公式訪問を開始し、10月末まで64クラブ訪れましたが、コロナに感染された会員、会長、幹事の方も何人かおられました。11月5日、6日の地区大会においてもコロナ感染を心配しましたが、何とか無事に開催できました。

本来、日本人の死因第1位は“がん”であり、これを予防するため、私も最近人間ドッグを受けました。しかし、現実には“がん”予防だけでなく、新たな疾病新型コロナウイルス予防等を継続し、健全な身体を維持し、健全なる精神によって元気にいつまでもロータリー活動を会員の皆様が続けられることを祈念したいと思います。さらに、2022年の師走を迎え、歳末の多忙な時期です。くれぐれも健康管理にご留意ください。



世界各国のロータリー会員は、ポリオ撲滅やコロナの感染対策のほか、マラリア、エイズ/HIV、アルツハイマー型認知症、多発性硬化症、糖尿病など、さまざまな疾病の予防と治療に携わっています。また、貧困地域の人たちを対象とした聴覚、眼科、歯科検診も実施しています。

疾病との闘いでは、患者への直接的なサポートだけでなく、地域社会全体のキャパシティを高めることも重要となり、以下の活動に取り組んでいます。

- 地元の保健従事者を対象とした医療ワークショップの開催
- 地元の医療・保健インフラを向上するプロジェクトの実施
- 主な疾病の拡散を防ぐための地域住民の啓発・動員
- 疾病・怪我を原因とする身体障害を防止するプログラムの支援
- 疾病予防・治療分野でのキャリア構築をめざす学生への各種サポート

#EndPolio | endpolio.org/ja

地区スローガン

「行動し、実践することにより、“ロータリーの輪”を広げよう」

12月は疾病予防と治療月間です

疾病との闘い

誰にとっても「健康であること」は何より大切。でも、基本医療を受けられない人は世界で4億人と言われています。質の高い医療を受ける権利はすべての人にあると、私たちは信じています。

世界で数百万人が病気によって苦しみ、貧困を強いられています。私たちが疾病の予防と治療に力を注ぐのは、このためです。病気の蔓延や医療不足に悩む地域社会に、仮設クリニックや献血センター、研修施設をつくったり、医師と患者と政府が協力できるインフラを設計するなど、世界中のロータリー会員は、人びとがより良い医療を利用できるよう支援しています。

マラリア、HIV／エイズ、アルツハイマー、多発性硬化症、糖尿病、ポリオなど、人びとを苦しめる病気の予防・治療や患者の支援に当たっている会員も大勢います。衛生教育のほか、無料の定期健康診断や眼科・歯科検診も行っています。

病気は何もせずに予防できるものではありません。命にかかわる病気の蔓延を食い止め、予防を徹底させるために、私たちロータリー会員は、医療従事者への研修、病気や衛生習慣に関する市民への指導など、世界で毎日、数百ものプロジェクトを実施しています。

ポリオ

世界最大の公共保健の取り組み、ポリオ根絶活動では、携帯電話やテキストメッセージの機能が活かされています。



ワクチン

定住地のない子どもたちへにワクチンを投与するため、パキスタンで懸命な取り組みが行われています。



マラリア

治療と予防を通じてマラリアのない世界を目指しています。



アルツハイマー

ロータリー会員は、アルツハイマー病と認知症との闘いで蓄積された経験を基に、病気への理解の向上、患者・家族への支援に当たっています。

メルボルン国際大会に数多くのご参加を！

地区オンツー・メルボルン委員長 東山 充

2640地区のロータリーメンバーの皆様、いつもお世話になっております。

今回のメルボルン国際大会は、2023年5月27日から5月31日まで開催されるにあたって、数多くの参加協力を希望しております。

熱い思いを肌で感じる事の出来るチャンスで有りこれからのロータリーライフを変えていく場所でもあります。日本人親善朝食会、地区のナイトパーティー、観光でクラブ及び地区の結束を深め思い出に残る国際大会にしてみませんか？

国際大会に行けなかったメンバーに世界で行われているロータリー活動を伝えクラブ、地区が益々発展していくように見て聞いて行動を伝える使命を持って参加を望んでいます。詳しくは、<https://convention.rotary.org/ja/melbourne>

2023年5月27日～31日
メルボルン・オーストラリア

イマジン ネクスト。メルボルン（オーストラリア）で開催される2023年国際大会にご登録ください。



マイロータリーから登録できます。早めに登録して割引をご利用ください。

- 2022年12月15日：早期登録による割引の最終日
- 2023年3月31日：事前登録による割引の最終日
- 2023年5月31日：オンライン登録の最終日





2023年ロータリー国際大会の開催地は、たくさんの魅力が集まった都市です。

活気と風格のある都市メルボルンは、あらゆる意味でオーストラリアの中心的な街といえるでしょう。オーストラリアの首都はキャンベラであり、シドニーが金融の中心地であることは間違いありません。しかし、メルボルンの豊かな歴史や観光スポットを掘り下げていくと、2023年ロータリー国際大会の開催地であるこの街は、ビクトリア州の州都であるだけでなく、この国のグルメや文化、スポーツ、ショッピングの中心地であることに気付くはずですよ。

食の都:ビクトリア州の経済の中心地

メルボルンは、先住民からヨーロッパやアジア、アフリカの国々からの多数の移民に至るまで、約140の文化が集まっているといわれ、2021年現在、同市とその周辺地域住民の約36%が海外生まれです。

こうした多様性から、変化に富み、常に進化し続ける文化が生まれたことはこの街の食文化にも表れています。カフェやレストランのほか、屋上の高層カクテルラウンジ、気さくなオーギーパブ、地下や路地にある隠れ家的なバーなど、実に多彩な店がそろっています。



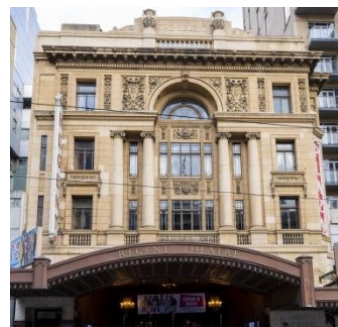
シックなビストロ、Bellota(ベジョータ)。プリンス・ワイン・ストアに隣接するこのレストランのワインの品ぞろえは、メルボルンでも有数です。知識

豊富なスタッフに、3,000種類以上あるリストの中から探してもらいましょう。ハムやベーコンなどのシャルキュトリーやチーズ、カキの盛り合わせなどが楽しめます。「Bellotaは決して期待を裏切りません。メニューの全てが素晴らしいんです」

文化の都:オーストラリアの文化の中心地

メルボルンは2008年、ユネスコの文学都市に選定されています。2017年に行われた国勢調査によると、住民9,503人につき一つのライブハウスがあり、その数は世界でトップクラス。ヨーロッパから入植した初期に建てられた壮大な遺産建築と、大胆で現代的なライブハウスが優雅に隣り合います。

1854年創業したプリンセス劇場は、街のランドマークになっています。近くのハー・マジエス・シアターは、ビクトリア時代の外観とアールデコ調の客席が特徴です。通りをはさんで向かい側には、オペラなどの公演が行われるアテネウムシアターがあります。もっと気軽に楽しみたい方には、ウィリアムズタウンにあるサンシアターの野外映画館がおすすめ。「湾の向こう側に広がる街の夜景を眺めながら、友人と語り合うには最高の場所です」また、「世界で最も美しい図書館」として知られている、ビクトリア州立図書館。「建築様式も机の配置もアーティスティックです」と彼は言います。歴史的なカルトン庭園の中心には、超近代的なメルボルン博物館があり、5月27日には国際大会のオープニングイベントが開催されます。「恐竜やカヌー、駅馬車、科学関係の展示など、この博物館はビクトリア州の自然環境、文化、歴史をさまざまな角度から紹介しています」詳しくは、[My ROTARY](#) を参照。



国際ロータリー第1・第2・第3地域

ロータリー財団地域セミナー

地区ロータリー財団委員長 中野 均

開催日 2022年11月19日(土)

場 所 神戸ポートピアホテル

ジェニファー・ジョーンズRI会長は、夢を実現するために行動し、クラブの魅力を最大限に味わえる場としてロータリーを思い描いて「イマジン ローター」をテーマとしています。ロータリー財団は、ロータリー会員の皆さまがチャレンジしようとしているより大きなインパクトを与える奉仕プロジェクトを達成できるようにすることを使命としています。

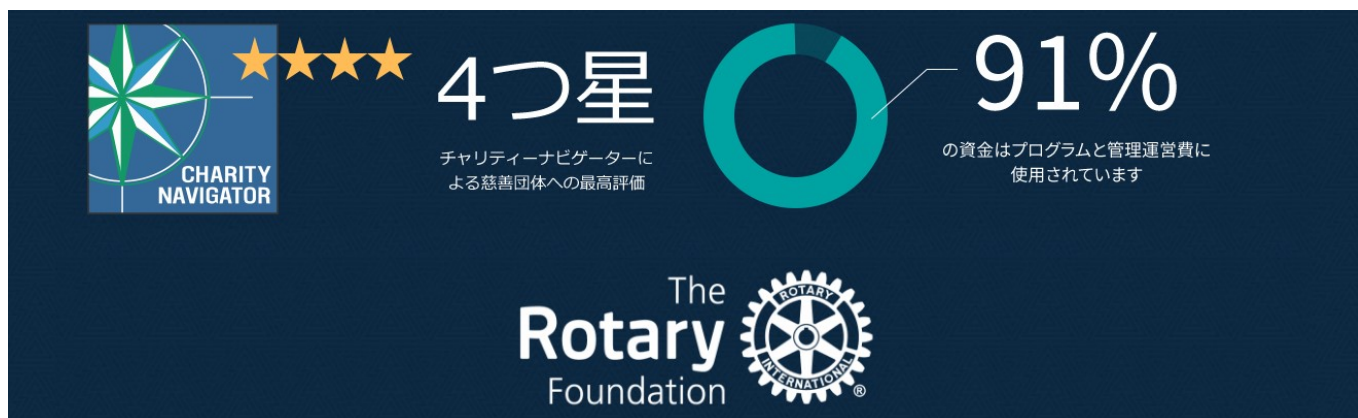
その中で、ポリオ根絶は、もっとも重要なプロジェクトであり、ポリオ・プラスへの寄付が重要になります。と主催者挨拶(一部抜粋)がありました。その後、「Doing Goods in the World」と題して、ロータリー財団管理委員長 イアン・ライズリー元RI会長による講演に続き、「ロータリー日本財団の現状」「ロータリー平和センターの取り組み」「ロータリーカードの現状報告」がありました。

午後からDDF寄贈功労地区表彰がありました。が、当地区は該当しませんでした。地区活動報告にいて、「ウクライナ災害救援基金プロジェクト」「パキスタン浄水プロジェクト」等について、速やかに地区の資金を支出し、ロータリー財団の基金を利用するプロジェクト遂行について、感銘を受けました。



地区ロータリー財団委員会として、まずポリオ根絶活動に前向きに取り組んで行こうと考え、皆さまのご理解ご支援賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

ロータリー財団は、皆さまからのご寄付を世界各地での奉仕活動に役立てています。



ロータリー研究会

ガバナーエレクト研修(GETS)に参加して

ガバナーエレクト 谷 宗光

11月19日(土)～11月22日(火)の日程で、神戸ポートピアホテルにおいてロータリー研究会が開催されました。一日目、付随事業としてロータリー財団地域セミナーが10時～16時半まで行われ参加しました。二日目は、ガバナーエレクト研修(GETS)とガバナーノミニー研修(GÑTS)が行われました。

私は去年(GÑTS)を受講し、今年度二回目の(GETS)ということで、同期の34名のエレクトと共に、年明けから向かう国際協議会に向けての最後のセミナーを受講しました。内容は、今までと同様に、1グループ10人位に分かれ、それぞれ別の部屋で研修リーダーが出される、課題に対して、決められた時間内に闊達に議論をしたり、それぞれの地区の具体例などを話し合います。

そして、今回は、久しぶりのインパーソンでの国際協議会ということ、初めてのフロリダ州オーランドでの開催なので、現時点で分かっている範囲での現地でのレクチャーを受けました。夜は、RI会長ジェニファーEジョーンズ様、TRF管理委員長イアンH・Sライズリーご夫妻歓迎晩餐会が盛大に行われました。



三日目はRI会長とTRF管理委員長の基調講演をありがたく聞かせて頂きました。また、お昼からのセッションでは「今こそポリオ根絶」について学び、最終日にもやはりポリオの実体験を語って頂き、ポリオ根絶の大切さ！ロータリーとしての使命でもあると、改めて考えさせられました。みなさんも、機会があれば是非ともこのような会にも参加してみてください。

行動することで、新しい価値観にも出会え、せっかく入っているロータリーが凄い団体だと気づき、素晴らしロータリーライフが送れると思います。



ロータリー研究会

ガバナーノミニー研修(GNTS)に参加して

ガバナーノミニー 野村 壮吾

開催日:2022年11月20日(日) 9:00~17:00

場 所:神戸ポートピアホテル



前日、朝10時から「ロータリー財団地域セミナー」を夕方16時20分まで、みっちり受講した後、ガバナーノミニー懇親会(夕食会)をした翌日、朝9時から始まりました。出席者は、日本全国の地区ガバナーノミニーの皆さんですが、1地区がまだ未決定と欠席が1地区で、32地区のガバナーノミニーとそのパートナーが出席していました。パートナーの出席は、50%位です。

国際ロータリー理事、佐藤芳郎氏の挨拶の中で「RIは時代に合わせて進化しようとしています」この言葉が、強調されておりロータリーが変革しなければ、存続しないという危機感があるように思われました。先進国諸国では、会員数が減少している。しかし、新興国(特にアジア)では、会員数が増加している。このような状況で、RIの強調事項は、「DEI(ディー・イー・アイ)」です。「Diversity(ダイバーシティ、多様性)」「Equity(エクイティ、公平性)」「Inclusion(インクルージョン、包括性)」これを忘れないで欲しいと強調されていました。

次に、ロータリー財団管理委員の三木 明氏のお話がありました。ロータリーが取り組んでいる「ポリオ根絶」は世界の子供達との約束です、という言葉が心に刺さりました。本当にあと少しでポリオを根絶することが出来るところまで漕ぎ着けた。このロータリーの粘り強さに、「為せば成る 為さねば成らぬ何事も 成らぬは人の 為さぬなりけり」を思い起こしました。

午後は、ガバナーノミニー研修セミナーワークブックを用いての分科会(グループセッション)が開催されました。これは、国際協議会でのGETSを意識して行われました。ここで、My Rotaryの中にガバナー学習プランがあるので、これを視聴するように指導を受けました。なんとガバナー就任までに24時間ほどの学習プランが用意されています。

分科会の後、本会議に戻り米山記念奨学会、RIJYEM(RI日本青少年交換多地区合同機構)、ロータリーの友、ロータリー文庫、平和センター、E/MGA(恒久基金/大口寄付アドバイザー)、EPNC(ポリオ根絶コーディネーター)からの報告を聞き、17時に閉会となりました。

とても盛り沢山の内容で、到底一日で理解することは出来ないですが、この研修を受講して、同期のガバナーノミニー仲間が出来たことは心強く思います。地区ガバナーは、RIの役員という立場になりますが、RIと地区各クラブの橋渡しという役目を頂いているということなので、ロータリーの本質をよく理解し、職務を全う出来るように取り組んでいきたいと思っています。皆さんよろしくお願いいたします。

2022-2023年度 地区大会の報告

和歌山北ロータリークラブ(ホストクラブ)会長 平山 裕郎



この度は、コロナ禍にも係わらず、沢山の地区会員の皆様方におかれましては11月5日(土)6日(日)と2日間に渡り地区大会にご登録、ご参加頂きまして心より感謝を申し上げます。1日目日本会議には219名、晩餐会には145名、2日目日本会議には551名のご参加を頂きました。本年度地区スローガンは『行動し、実践することにより“ロータリーの輪”を広げよう』です。

思い起こせば新型コロナウイルス感染症は2020年1月16日に中国の湖北省武漢市に滞在後帰国した神奈川県在住の男性から始まりました。その後、故安倍元総理大臣が2020年4月7日に東京、神奈川、埼玉、千葉、大阪、兵庫、福岡の7都府県に緊急事態宣言を行い、4月16日には対象を全国に拡大しました。現在でも感染症分類では第2類相当に指定されています。よって、直近で2日間の地区大会を開催できたのは2019-2020年の中野ガバナー年度のみであります。藤井ガバナー年度、豊岡ガバナー年度は再三の緊急事態宣言により残念ながら2日間の地区大会を実施することができませんでした。しかし、本年度は幸いにも新型コロナウイルス感染症の数も激減したことにより、3年ぶりに2日間の地区大会を行う事が出来ました。そして、大勢の皆様方に参加登録をして頂いたことを大変うれしく思っております。

大会一日目は点鐘に始まり水野功 RI 会長

代理による『元気なクラブを目指して～参加して行動してクラブを活性化しましょう～』の講演を頂きました。そして、基調講演として熊野本宮大社宮司 九鬼家隆様に『甦りの熊野本宮』と題して講演を頂きました。私は、外の用事をしていたので拝聴をすることができませんでしたが、和歌山県神社庁長のお役をされている方のご講演でありましたので大変有難くご利益のある講演だったことでしょう。そして、立法案検討会があり一日目の午後の部は点鐘と共に終了を致しました。夕方には水野功 RI 会長代理ご夫妻をお迎えしての晩餐会が開かれ、ピアノ・バイオリン・サクソ奏者の演奏を聴きながら和やかな雰囲気懇親を深めることが出来ました。

2日目の午前の部は一般公演という事で和歌山県を代表する企業で株式会社島精機製作所代表取締役会長の島正博様より『愛と創造と気で挑む』と題してご自身の人生の生き様についてのご講演をして頂きました。RI会長の本年度テーマである『イマジン』『創造』がこの講演の内容にも出てきました。又、午後の部では、有人宇宙システム株式会社常務取締役の前村孝志様による『日本人は月に立てるか ～日本の宇宙開発の現状と将来～』と題してのご講演がありました。この講演には未来を想像する内容が出てきていました。夢を想像することの先には希望の光があると信じて行動することが成功の秘訣であるということをお二方講演からも学ぶことができました。

本年度のジェニファーE. ジョーンズ RI会長の提唱したテーマも『イマジンロータリー』です。こんな時代だからこそ皆様方も素晴らしい夢を想像しましょう。夢は目標です。夢を持つ事が大切なのです。皆さま方と共に、素晴らしい夢を持ち明るい平和な未来に向けてロータリー活動を頑張っていこうではありませんか。各クラブ、各会員様のご健勝とご発展を祈念致しまして地区大会のお礼のご挨拶とさせていただきます。

【Rニュース】



国境なき調停者団インターナショナル(MBBI)との協力

MBBI は国際ロータリーの公式サービスパートナーです。MBBI とロータリーは、この共通のビジョンを実現するために数多くのプロジェクトを開発してきました。

持続的な変化をもたらすためのカギは、人びとを中心とし、地域社会全体が関与するプロセスを通じて紛争に対応することです。これは、ロータリーと国境なき調停者団インターナショナル(MBBI)とのパートナーシップの基礎となっているアプローチでもあります。

MBBIは、世界中のロータリークラブや地区と協力し、平和構築のための活動を行っています。この協力関係において、MBBIは地域社会の協力とエンパワメントに基づく調停プロセスの専門知識を提供する一方、ロータリーは、信頼と信用、地元根ざした知識を提供します。

このパートナーシップでは、困難な状況における対話の機会を設け、その対話を導くことのできるリーダーを養成しています。特に、調停と平和構築における女性のリーダーシップの強化に力を入れています。

MBBIはまた、クラブと定期的に協力し、より内面的な部分に焦点を当てる「平和のための対話促進プログラム」(PCF)を実施しています。このプログラムは、会員が繊細なテーマについて話し合い、それぞれの地域社会に影響を与える問題について合意を形成するのに役立っています。

「人は、同じ問題について情報を得ても、それぞれ異なる理解をするもの」とマーティンさんは話します。MBBIは、クラブが問



題について話し合うだけでなく、関係者全員にとって健全かつ生産的な活動を行えるようサポートできます。

人なら誰しも対立を経験するものだと言、マーティンさんは指摘します。重要なのは、対立を無視したり避けたりするのではなく、対立と向き合い、暴力に発展しないよう対応し、そこから学ぶこと。そうすることで、紛争を引き起こすエネルギーが、より包括的で建設的な交流へと変わり、最終的には、より安全でつながりのある、より豊かな地域社会が実現するのです。

この考え方は、紛争の影響を受けた人びとやビジネスリーダーと共に活動し、地域社会全体と協力することを重視するロータリーのアプローチと合致するものだと言、マーティンさんは話します。「ロータリーの新しいビジョンには感銘を受けています。このビジョンは、私たち自身と地域社会に変化をもたらすものです。私たちは、そのインパクトを測定することもできます」



Mediators
Beyond Borders
INTERNATIONAL

【RIニュース】

消えゆくオオカバマダラ 生息地の復元を誓う

世界の植物種の75%は、オオカバマダラなどの花粉媒介者に依存して生きています。

ロータリーの力を生かす

2015年6月、当時セントクロイ国立景観河川の管理者だったスタインさんは、ロータリー第5960地区（ミネソタ州とウィスコンシン州の一部）のガバナーエレクトだったマーリーン・ガーグラックさんを国立公園の本部に招き、オオカバマダラやその他の花粉媒介者にとって不可欠な生息地の減少について話し合いました。

スタインさんは、物事を実現させるロータリーの力を知っていました。その数年前、ミネソタ州のスティルウォーター・サンライズ・ロータリークラブでプレゼンテーションを行い、第5960地区と国立公園局が覚書を締結するきっかけを作りました。その結果、セントクロイ川を渡る鳥たちが夏と冬に暮らす、米国中西部とコスタリカの国立公園の間で「姉妹公園」プロジェクトが行われることになったのです。これは、1930年代にロータリアンが考案した国際平和公園（米国のグレイシャー国立公園とカナダのウォータートン湖国立公園を結ぶ）を参考にしたアイデアでした。

環境の持続可能性に取り組むロータリー行動グループ（Environmental Sustainability Rotary Action Group、通称ESRAG）は、環境保護に関する幅広いプロジェクトに参加しています。

オペレーション・ポリネーション（授粉作戦）

2015-16年度ガバナーとして、ガーグラックさんは地区内の全63クラブを訪問して花粉媒介者の危機について話し、「花粉媒介の誓い」に参加して行動を起こすよう呼びかけました。また、東部のオオカバマダラ生息域にある全74地区のガバナーに手紙を送り、同じく行動することを求めました。その年の地区大会では、花粉媒介者のための植物が販売されました。2015年7月、ガーグラックさんはウォルター・モンデール元米国副大統領（ミネソタ州在住）との会合に出席

し、花粉媒介者の生息地を増やす方法について話し合いました。翌月には、スティルウォーターのロータリアンであるクレイグ・ライザーさんとベブ・ドリスコルさんとともに、ミネソタ州のベティ・マッコラム連邦下院議員と面会し、花粉媒介者の生息地増加に関心のある誰もが参加できる幅広い活動「オペレーション・ポリネーション」（授粉作戦）を開始しました。また、ロータリアンの働きかけを受け、中小企業経営者、野球チーム、国立公園局、森林局、魚類野生生物局などの政府機関、Andersen CorpやXcel Energyなどの民間企業を含む含むパートナーシップ（St. Croix Valley Pollinator Partnership）が締結されました。2016年、このパートナーシップは全米魚類野生生物基金から20万ドルの助成金を受け、約1,000エーカーの土地に在来の生息地を復元したほか、ミルクウィードと野草のための5エーカーの植栽区画を設置することができました。



現在、授粉作戦の活動の多くは、オオカバマダラの通り道の北端に位置する第5960地区内で行われています。この地区のロータリアンは、渡りのルート沿いにあるすべてのクラブやその他の団体と協力したいと考えています。国立遺産地域（National Heritage Areas、テキサス州よりも広い面積）は、国立公園局の支援の下、地元団体によって運営される官民パートナーシップだと、スタインさんは話します。全米55の国立遺産地域のうち、36地域が授粉作戦への参加に関心を示しています。そのうち12カ所は既に関連する決議文に署名しており、現在プロジェクトのパートナーを探しています。

ロータリーは環境のために行動し、
ESRAGは触媒です。
一緒に私たちは地球を守ります。



ESRAG：環境の持続可能性ロータリー行動グループ

【地区活動報告】

2022年規定審議会の審議の経過と改正された定款・細則の主な内容

地区情報規定委員長 北岡 満

2022年11月12日、森本ガバナー始め、地区役員、岡本規定審議会代表議員、檜畑次期代表議員の同席をいただき、ホテルシティイン和歌山にてクラブ情報規定委員長会議を開催致しました。



議案は、国際ロータリーが3年に一度開催する、2022年規定審議会についての報告が主なものです。代表議員として、同審議会にオンラインで出席された岡本代表議員に審議の経過及び採択された制定案の説明をいただきました。

報告いただいた主な内容は以下のとおりです。今回の規定審議会では94本の制定案が係属されました。その中で、日本の代表議員が争点としていた制定案は、以下の4点です。

- ①事務総長の在任期間の制限及び報酬上限を制定する件
- ②SRF（ロータリーの未来形成）構想への反対論
- ③人頭分担金の値上げについて増額の負担感が大きい事
- ④例会出席義務の強化方向での提案

これらは理事会側の根回しとも思われる対策の中でいずれも採択されなかったとのこと。今回の規定審議会はオンラインでの参加となり、審議については途中音声に乱れがあって聞き取れないとか、会場の全体的雰囲気を感じられないなどの問題もあり、基本リアルでの会議であるべきだったとのことのお話です。

今回採択された制定案の中で制定案の中で今後のクラブ・地区運営に強く関わってくる案件は以下のとおりです。

①制定案22-07;理事会の議事録の30日以内（60日を改正）の配布

②制定案22-13; 会員がクラブの所在地域に住居又は事業場を有する要件を削除

③制定案22-46;人頭分担金を増額する件（半年ごとに増額される）

④制定案22-56;地区による立法案及び決議案の提出方法を改正する件

（立法案・決議案の提出につき、提案するための承認要件が緩和された）

⑤制定案22-85;出席報告の提出義務を撤廃する件（月次出席報告を各クラブがガバナーに提出する義務規定が削除された）

以上が2022年規定審議会で採択された制定案の主な内容です。

国際ロータリーは、クラブ運営については、より運営の柔軟性と言う方向に向かっていると思われます。



【地区活動報告】

地区インターアクトクラブ 国内研修オリエンテーション



地区インターアクト委員長 渡辺 隆一



2022年11月13日(日)10時30分～12時30分、河内長野駅前市民センター・ノバティホールにおいて、IAC国内研修オリエンテーションを開催いたしました。新型コロナ禍前の例年は、青少年の育成を図り「奉仕の精神」を養うために、インターアクト

クラブ部員を海外に派遣して研修を行っていましたが、新型コロナ禍等諸般の事情に鑑み、今年度は日程を短縮して12月後半に、宮城県気仙沼市およびその周辺への国内研修を実施する予定にしております。今回のオリエンテーションは、国内研修についての説明と、各校IACの生徒さん同士の親睦を深めることを目的として行いました。

宮城県気仙沼市およびその周辺は、東日本大震災で甚大な被害を受けた地域の1つであり、今回の国内研修では、ボランティア活動、地域の住民の方々や中高生との交流、伝承館の見学など様々なプログラムを実施する方向で計画を進めています。海外ではなく国内である点は、生徒さん方が残念そうではありましたが、3年振りの研修復活ということもあり、親睦を図るゲーム等でも和気あいあいと楽しく行われていたように感じました。

オリエンテーションには、本国内研修のコーディネーターをお願いしました箕面ユネスコ協会会長の坂口一美(さかぐちひとみ)さま(気仙沼市出身)をお招きし、



本国内研修の概略等について、動画などを交えてご説明いただきました。本国内研修の実施にあたっては、安全に万全を期して進めてまいります。

今回の国内研修オリエンテーションの開催にあたり、ご尽力いただきましたすべてのみなさまに深く感謝申し上げます。

写真提供 地区幹事 濱田 雅嘉

【地区活動報告】

慶風高校インターアクトクラブ設立総会・認定状伝達式



地区インターアクト委員長 渡辺 隆一

2022年11月23日(水)、和歌山市内のホテルアバローム紀の国において、和歌山アゼリアロータリークラブ提唱の「慶風高校インターアクトクラブ」の設立総会・認証状伝達式が執り行われました。

「慶風高校インターアクトクラブ」(和歌山県紀美野町)は、2022年8月8日に国際ロータリーから、正式加盟を認定されました。「慶風高校インターアクトクラブ」は、**地区内13番目**のクラブとなります。



写真:わかやま新報

式典には、森本ガバナーをはじめ、谷ガバナーエレクトほか地区役員のみなさん、地区内インターアクトクラブの顧問・生徒さん方、和歌山市下のロータリークラブの会長・幹事、地区インターアクト委員会のみなさんと、多数のみなさんのご臨席を賜りました。

「慶風高校インターアクトクラブ」誕生のこの日までご苦勞をなされた生徒のみなさん、同校の田原理事長をはじめとする先生方、学校関係者のみなさん。スポンサークラブである和歌山アゼリアロータリークラブのみなさんに心から敬意を表します。

設立総会の前には、慶風高校インターアクトクラブの今後の参考にしてもらうために、和歌山アゼリアロータリークラブの例会を開催されるなど、創意工夫を凝らした式典が催されました。今後、地区内外のインターアクトクラブとの交流・親睦を深めて、活発に活動していただければと思います。当地区の新しいインターアクトクラブの誕生を心よりお祝い申し上げます。

インターアクトとは

インターアクトは、12歳から18歳までの青少年のための奉仕クラブです。同世代の参加者と交流を深め、楽しく活動に参加しながら、地域に役立つボランティア活動に参加するほか、平和と国際理解について学びます。地元のロータリークラブがスポンサー(提唱クラブ)となり、活動を支援し、アクターが、リーダーとしての力を身につけられるよう指導します。

【クラブ活動報告】

ウクライナ難民のためのサポート教育センター支援

泉佐野ロータリークラブ

会長 大工 貞晋

国際奉仕委員長 貴志 豊

今年の2月24日、ロシアがウクライナ侵攻を始め、日を追うごとにウクライナ国民が隣国へ多く避難しています。受入国の一つであるポーランドにおいて、約200万人のウクライナ難民を受け入れており、ワルシャワだけでも30万人に達します。

このようなことからクラブで何かできないか検討した結果、ワルシャワにあるショパンロータリークラブに知人がいる貴志国際奉仕委員長が連絡を取り「ウクライナ難民のためのサポート教育センター」支援をすることを理事会決定しました。

資金として、ロータリー財団災害救援補助金を使用できると判明し、日本事務局財団室のアドバイスを受け申請させて頂きました。申請額は、最大の25,000ドルで、送金は、クラブからできないため地区財団委員長に相談して、送金して貰いました。



教育支援センター

このプロジェクトの概要は、

- ・ウクライナ難民のためのサポート教育センターを開設。運営はウクライナ人に委ねる。
- ・提携したショパンロータリークラブ管理の施設は、ワルシャワ郊外に位置し、3階建ての2階3階のフロアを使用。
- ・センターは、以下のとおり活動している。

☆第1段階 心理士、精神科医による難民への精神的サポート

☆第2段階 デイクア

☆第3段階 教育

以上です。少しでも早くウクライナへの侵攻が終わり、以前のように平和に暮らせる時がくることを祈っています。

教育支援センターでの活動の様子



受領通知

18:26 18:26 18:26 Szczegóły operacji 29.09.2022 PRZELEW WALUTOWY PRZYCHODZĄCY 23 845,47 USD Kategoria: Wpływy - inne Komentarz: Tytuł przelewu: PURPOSE: DONATION. Rachunek odbiorcy: 53 1140 2004 0000 3112 1498 7798 Odbiorca:		ROTARY CLUB WARSZAWA FRYDERYK CHOPIN, N. UL. KWIATNICEJ 1AKI 2B 02-971 WARSZAWA, A POLAND TEL. 48 695 128 333 Rodzaj operacji: PRZELEW WALUTOWY PRZYCHODZĄCY Nazwa nadawcy: ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2640, KEYAKI ONE 301 3-34 MISONOCHO WAKAYAMA CITY WAKAYAMA 640-8331 JAPAN Rachunek nadawcy: 0183069159 Bank nadawcy: 11400000 Kwota przelewu:
--	--	---

【クラブ活動報告】

-青少年奉仕活動- 少年野球大会を主催

和歌山北ロータリークラブ

青少年奉仕委員長 明楽 修身

私達のクラブは、青少年奉仕事業の一つとして少年野球大会「和歌山北ロータリークラブ杯争奪西支部お別れ野球大会」を主催しています。本年度で28回目の開催となります。

2022年11月3日に開会式を迎え、平山裕次郎会長のスピーチ、選手宣誓に引き続き会長による始球式が行われました。



本年もコロナウイルス感染拡大に配慮しながらの開催ではありますが、7チーム全ての参加を得ることが出来ました。

11月6日に初戦が行われ、北ロータリー杯の獲得を目指して熱戦が繰り広げられています。閉会式は、11月23日。

青少年奉仕事業は、未来を担う青少年達が奉仕の心や高い道德観、平和といったロータリークラブの価値観を学ぶための場であると考えます。学習した成果が彼らのSocietyに広まっていくこと、さらに、参加者の中から地域のリーダーや未来のロータリアンが誕生する事を願っています。



【クラブ活動報告】

JR和歌山駅前の花壇の植え替え

和歌山市内9ロータリークラブ



【和歌山新報 11月15日〔社会〕】から

和歌山市内の9ロータリークラブは13日、NPO法人花いっぱい推進協議会（森川勝代表）が行うJR和歌山駅前の花壇の植え替え作業に参加。時折雨が降る中、26人が色とりどりの花の苗を植えた。



この活動は同市を訪れる人を花いっばいで迎えようと、2004年から毎年行っている。

尾花正啓市長も駆け付け、「花で街がきれいになっているのは皆さんのおかげ。これからもよろしくお願いします」とあいさつ。

和歌山中ロータリークラブの宮本 嘉久会長は「和歌山の玄関口となる駅前をきれいにすることで、街が活性化してくれたらうれしい」また、NPO法人花いっぱい推進協議会の森川代表は参加者に「悪天候ですが楽しく植えていきましょう」と呼び掛け、担当者が花の植え方を説明した後、作業を開始。シクラメン、ビオラ、パンジーなど6種類の苗1150株を植えた。

https://www.wakayamashimpo.co.jp/2022/11/20221115_112955.html



昨年度（2021年11月）の集合写真

新会員の紹介

	クラブ名 海南東ロータリークラブ 氏名 さいりき あきひろ 職業分類 建築業 生年月日 1964年6月9日 入会年月日 2022年10月3日		クラブ名 泉佐野ロータリークラブ 氏名 よしもと はじめ 職業分類 不動産管理 生年月日 1946年3月9日 入会年月日 2022年10月6日
	クラブ名 田辺はまゆうロータリークラブ 氏名 むらかみ ゆうき 職業分類 映像制作 生年月日 1987年5月24日 入会年月日 2022年10月4日		クラブ名 和歌山ロータリークラブ 氏名 わだ としぞう 職業分類 ホテル・不動産賃貸業 生年月日 1959年1月1日 入会年月日 2022年10月11日
	クラブ名 和歌山城南ロータリークラブ 氏名 おおつか ゆうこ 職業分類 証券業 生年月日 1981年9月19日 入会年月日 2022年10月13日		クラブ名 和歌山西ロータリークラブ 氏名 てらまえ しげと 職業分類 税理士 生年月日 1973年8月10日 入会年月日 2022年10月20日
	クラブ名 和歌山北ロータリークラブ 氏名 かいはつ やすたか 職業分類 旅行代理店 生年月日 1955年2月6日 入会年月日 2022年10月17日		クラブ名 橋本ロータリークラブ 氏名 こまつ しんじ 職業分類 商業銀行 生年月日 1969年4月25日 入会年月日 2022年10月27日

奉仕と友情の輪を広げよう

言 ト 幸 反

故人の功績を称え 謹んでお悔やみ申し上げます

堺清陵ロータリークラブ



たかせ さとる
高瀬 悟 様

2022年10月15日 逝去

在籍期間 12年
職業分類 保護司
表 彰 P・H・F



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライト よねやま

vol. 272
2022年11月11日
発行



秋の外国人叙勲 米山学友に旭日双光章

旭日双光章 ^{ライ ミンチュ} 頼 明珠さん (1977-78/松戸RC)



作家・村上春樹作品の中国語（繁体字）版翻訳者として、これまで40冊を超える村上作品のほとんどを翻訳・出版。中華圏に広がる「村上春樹ブーム」の先導者として知られています。

(写真:2012-13年度ホームカミング招へい時)

1. 2023 学年度奨学金申込み状況

10月15日に締め切りを迎えた2023学年度のロータリー米山記念奨学金（学部・修士・博士/地区奨励）には、指定校569校（地区を超えた指定校の重複を含む。前年度564校）から1,334人（1,298人）が推薦されました。

被推薦者の国籍・地域は、中国54.6%（54.2%）、ベトナム13.6%（13.8%）、韓国9.0%（8.8%）、

インドネシア2.9%（3.2%）、次いでマレーシア、台湾、モンゴルの順となっています。

課程別の応募状況は、博士課程17.5%（20.5%）、修士課程34.2%（33.3%）、学部課程44.6%（43.1%）です。なお、大学以外の教育機関を対象とする「地区奨励奨学金」には、8地区17校から計34人の応募がありました。

2. 米山学友が多数 衛星クラブが待望の結成認可伝達式

11月6日、東京麹町ローターアクトクラブ、東京麹町スターロータリー衛星クラブの結成認可伝達式が都内ホテルにて開催されました。同衛星クラブは、今年7月にチャーターナイトを開催予定でしたが、急激なコロナの感染拡大で延期を余儀なくされていました。感染状況を見て、ようやく開催することができました。

当日は、当会から相澤光春副理事長が出席し、祝辞を述べました。龔 雷さん（2007-08/横浜鶴峰RC）が初代議長（衛星クラブは会長と呼



ばず、議長と呼ぶ）を務める同衛星クラブには8人の米山学友が在籍しており、第2火曜日・第4水曜日に例会を開催しています。

3. よねやま親善大使が地区大会でスピーチ



11月6日、国際ロータリー第2520地区の地区大会が盛岡市内ホテルにて開催され、よねやま親善大使のアドゥアヨム・アヘゴ・アクエテビさん（2014-15/新発

田城南RC）が参加しました。同地区の米山奨学生も出席した会場には、800人を超える参加者が集まりました。アヘゴさんは米山奨学生との懇親会に出席し、その後の本大会では清水努地区米山奨学委員長の紹介で登壇。約10分間のスピーチを行い、自身の義足師としての夢、米山への感謝を述べました。

4. 寄付金速報 — 米山月間へのご協力に感謝！ —

前年同期比

+ 14.0%

普 - 1.4% 特 + 25.6%

10月までの寄付金は、前年同期と比べて14.0%増（普通寄付金:1.4%減、特別寄付金:25.6%増）で、約7,090万円の増加となりました。単月

のみの比較では約680万円の減少となりましたが、9月の大口寄付の影響もあり、累計額においては増加の状態で推移しています。今回の米山月間にご協力をいただきました皆さまに、心より感謝申し上げます。今年も残り2か月を切りました。引き続きご支援賜りますよう、よろしくお願いいたします。

5. 「再会 in 関東」に向けチャリティー奉仕リレー

第3回米山学友による世界大会「再会 in 関東」（2023年8月5～6日開催）に向けて、関東10地区学友会による「チャリティー奉仕リレー」がスタートしました。

トップバッターとなった国際ロータリー第2770地区米山記念奨学部門学友会は10月2日、岩槻駅前にて募金活動を主催し、「貧困に苦しむ日本の子どもたちのための教育支援」を呼び掛けました。当日は8人のロータリアン、28人の米山奨学生・学友を含む、総勢40人が参加。募金活動で集まったお金は、NPO法人「Learning for All」へ寄付する予定です。

募金活動後は、岩槻駅から岩槻城址公園ま



クリーンアップウォーキング後に集合写真

での約2kmを歩きながら、落ちていたゴミを拾う「クリーンアップウォーキング」を行いました。この奉仕活動は今回が通算4回目となり、同地区内の浦和、与野、大宮、岩槻エリアにて活動。今後は上尾や戸田まで範囲を広げていく予定です。

奉仕活動に参加した田敏さん（2009-10／越谷南RC）は、「参加者全員で力を合わせて呼びかけた結果、私たちの予想を上回る募金が集まりました。ご協力いただいた岩槻市民の皆さまに、心より感謝いたします。今後は奨学生に対して、奨学期間終了後も学友会にて活躍してもらえよう、人材育成や支援にも力を入れてまいります」と述べました。



岩槻駅前で募金活動を行う米山学友

もうすぐ締切

普通寄付金 申告用領収書の申請は11月末まで！

普通寄付金分の確定申告用領収証の申請期限は11月30日です。当会ホームページのメニュー、

寄付金について → 「普通寄付金：申告用領収書の申請はこちら」からお手続きください。

特別寄付金については来年1月下旬、自動的にクラブ経由で送付されますので申請はご不要です。

第1地域 コーディネーター補佐

今井 高志(弘前RC)

私の所属している国際ロータリー第2830地区(青森)と隣の同第2540地区(秋田)は、人口減少率が日本で一番と二番の県である。そういう中で、ロータリーの会員数も減少を続け、2022年7月末現在の会員数は、第2830地区は1110人、第2540地区は1118人となっている。



2013年度規定審議会で改正されるまでは、「RI理事会は会員数が1200名未満の場合、地区の境界を変更することができる」になっていた。当時の第2830地区と第2540地区の会員数は1200名を下回っており、このままだと合併させられるとの思いから、2013年度規定審議会において、両地区の共同提案により、1200名未満から1100名未満に改正された。賛成288票、反対229票の僅差だったようである。

会員増強を図るためにどうしたら良いのか。一つの鍵はロータリーの公共イメージを向上させることだろう。各地区で、ロータリーの認識度調査を行っているが、その結果を見ると、ロータリーの名前を認知しているのは6割程度いるものの、詳細認知となると1割しかない。認知されている活動も、会員の交流、地域の社会奉仕、募金活動などで、ロータリーの最優先事項である「ポリオ根絶」に至っては、認知度は10%を切っている。

対応策としては、各地区、各クラブで行われている素晴らしい奉仕活動を、今まで以上に多くの方々を巻き込んで行うこと、そしてマスコミにも取り上げてもらうこと。その結果がロータリーの公共イメージの向上に繋がるのではないと思う。

とくに、「ポリオ根絶」については、ロータリーの最優先事項として取り組んでいることをもっと知ってもらわないといけない。今年の世界ポリオデーは、佐藤RI理事の呼び掛けで、全国各地でイベント等が開催され、大いに盛り上がった。これを一過性に終わらせないで、来年10月24日の世界ポリオデーでは、全国各地で「赤いTシャツ」がやたら目立つようになりたいと思う。と同時に「ポリオ根絶活動」は普段から地道に行っていかなければならない。

ロータリーには「意義ある事業の基礎として奉仕の理想を奨励し、これを育むことにある」という目的があるが、ロータリーへの入会のきっかけ、動機、目的は一人一人違うだろうし、ロータリー観すら一人ひとり違うかもしれない。

そうであればこそ、ロータリーにとって「どんな活動をしているか」は重要なことである。ポール・ハリスが次のような言葉を残している。「ロータリーが私たちにとって何を意味するにせよ世界はその活動成果によってロータリーを知るのです」

まさにその通りだと思うが、私個人は活動成果の中には、当然「個人の言動」も含まれているのではないと思う。当たり前ではあるが、個人的にも職業人としても素晴らしい人たちがいて、素晴らしい活動をしているところに、人が集まってくる(会員が増える)のではないと思う。

第1地域 公共イメージコーディネーター補佐

保延 輝文(石岡RC)

今から20数年前、私がロータリーに入会し数年たった頃の事です。たまたまクラブの広報委員長になり、ガバナー公式訪問のクラブ協議会で、「広報委員会では、新聞記者との懇談会を開き奉仕活動を記事にさせていただけるようにしたい」と発表したところ、当時のガバナーより「そのようなことは必要ありません」と一蹴されてしまいました。その時の記憶が今でも鮮明に残っており、当時のロータリーの謙虚さがよくわかる思い出となっております。



時は過ぎ2年前に、ロータリー公共イメージコーディネーター補佐を拝命いただきましたが、公共イメージといってもまだ漠然としたイメージしかありませんでした。しかし、ロータリー公共イメージコーディネーターの会議を重ねるうちに、公共イメージを向上させる戦略、地区への支援の方法等への奥深さを強く感じた次第であります。

今年度、佐藤芳郎RI理事は10月24日の「世界ポリオデー」に全国の各クラブが、同日にポリオに因んだイベントを行うよう目標を掲げられました。公共イメージを向上させるためには、全会員が協力し、ブランド力を高めなければなりません。各地区が「世界ポリオデー」に参加し活動することは、会員相互の信頼・協力が生まれ、活発なクラブ運営につながると期待しております。

そのような中、今年度は新たに、第2地域ロータリー公共イメージコーディネーター補佐の桑澤一郎氏が立ち上げられました「世界ポリオデーポータルサイト」は、ポリオに関する資料、クラブ、地区同士の情報共有の場を提供されました。また、ポリオデーで行ったイベントに対するフォトコンテストも受け付けるサイトとなっております。ファンドレイジングや公共イメージアップには画期的なことだと思います。また新聞の全国版の一面にロータリーの活動、理念、ポリオへの活動等を掲載されたことは、さらに強くロータリーの公共イメージを高めたと思います。

私は今年度より、地区学友会委員長を拝命いたしました。インターアクト、ローターアクト、米山奨学学友、ローテックス等の学友の方々には、積極的に奉仕活動に参加していただき、ロータリーを少しでも理解を深

【次ページへ】

めていただきたい。また、いかに広報活動が大切かを発信していきたいと思います。それを踏まえて学友会の皆様には、将来のロータリーを担って頂きたいと思ひます。

また私の地区では、数年前より特別仕様のロータリー広報車を公式訪問時に使用し、今も元気に街を走り回っております。一人でも多くの皆様にロータリーの活動を知っていただきたいと思ひます。この様な一歩も公共イメージに大いに貢献すると確信しております。

第1地域 財団地域コーディネーター補佐

中川 高志(大宮)

今年度から第1地域ロータリー財団地域コーディネーター補佐を拝命しました大宮RCの中川高志と申します。よろしくお願いいたします。



2018-19ガバナー年度終了後、昨年度まで3年間地区ロータリー財団委員長に就任していました。ガバナー前にも3年間ロータリー財団に出向していましたのでロータリー財団歴だけは長い部類に入るのではと思ひています。今回は自己紹介を兼ねて地区ロータリー財団委員会(2770地区では財団部門と呼んでいます)についてお話しさせていただきます。

ロータリー財団章典によりますと、「地区ロータリー財団委員会(District Rotary Foundation Committee)は地区の財団補助金および寄付推進活動に参加するようロータリアンの教育、意欲喚起、啓発を補佐する」と定義されています。委員会には、補助金、ファンドレイジング(寄付推進)、ポリオプラス、ロータリー平和フェローシップ、資金管理の5つの小委員会の設置を要求しています。

2770地区では財団委員会の下、活動は財団部門委員長中心に行われています。地区補助金運営委員会を追加して6つの小委員会があります。地区内クラブからの卓話要請に対応し、誰でも卓話者になれるように年間6回程度の部門全体の勉強会を開催しています。コロナ禍によりこの3年間は通年より減っていますが、およそ30クラブから卓話依頼を受けています。おかげさまで、寄付額は日本の地区内では上位にランキングされています。

補助金活動についても熱心に取り組んでいます。グローバル補助金プログラムも最近では年5~6件承認されています。地区補助金についてもほぼ100%プロジェクトに充てられています。

このように、2770地区ロータリー財団部門は比較的熱心な活動ができていますが、その理由の一つに、ロータリー財団地域セミナーへの参加があげられます。一般的にはパストガバナークラスの方々が中心に参加されていますが、2770地区ではロータリー財団部門委員だけでも12~13名参加しています。かなり質の高いロータリー財団情報を多くの委員と共有できる事は地区での活動の大きな原動力になります。ぜひ多くの会員がロータリー財団地域セミナーへ参加されることをお勧めします。

また、第1地域では、飯村RRFCのご発案で第1地域財団地区委員長会議が開催されています。新しい知識の収集、他地区との情報の共有、親睦を深める場として素晴らしい会議です。地区ロータリー財団運営に大いに役立つ会議だと確信しています。ZOOM開催なので負担も軽く、委員長のみならずロータリー財団に興味のある多くの会員が参加していただければと思ひています。



ロータリアンの行動規範

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

1. 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
2. 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
3. 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
4. ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。
5. ロータリーの会合、行事、および活動においてハラスメントのない環境を維持することを支援し、ハラスメントの疑いがあれば報告し、ハラスメントを報告した人への報復が起こらないよう確認する。

第2640地区 会員数報告(2022年10月)

クラブ名	会員数				入会			退会			クラブ名	会員数				入会			退会		
	22.7.1	内女性	22.10月末	内女性	10月	内女性	累計	10月	内女性	累計		22.7.1	内女性	22.10月末	内女性	10月	内女性	累計	10月	内女性	累計
串本	6	1	6	1	0	0	0	0	0	0	松原	14	0	14	0	0	0	0	0	0	
那智勝浦	11	0	11	0	0	0	0	0	0	0	松原中	24	3	24	3	0	0	0	0	0	
新宮	49	2	50	2	0	0	1	0	0	0	美原	5	1	4	1	0	0	0	0	1	
白浜	10	1	10	1	0	0	0	0	0	0	大阪狭山	8	1	8	1	0	0	0	0	0	
田辺	83	3	84	3	0	0	2	0	0	1	太子	17	1	17	1	0	0	0	0	0	
田辺東	37	3	37	3	0	0	0	0	0	0	富田林	34	0	34	0	0	0	0	0	0	
田辺はまゆう	27	5	32	6	1	0	5	0	0	0	泉佐野	19	0	22	0	1	0	3	0	0	
有田	26	1	26	1	0	0	0	0	0	0	貝塚	14	1	14	1	0	0	0	0	0	
有田南	23	1	24	1	0	0	1	0	0	0	貝塚コスモス	11	3	11	3	0	0	0	0	0	
有田2000	15	0	15	0	0	0	0	0	0	0	関西国際空港	17	1	17	1	0	0	0	0	0	
御坊	39	3	38	3	0	0	0	0	0	1	岸和田	31	1	31	1	0	0	2	1	0	
御坊東	14	0	13	0	0	0	0	1	0	1	岸和田東	39	6	40	6	0	0	1	0	0	
御坊南	15	6	15	6	0	0	0	0	0	0	岸和田南	7	0	7	0	0	0	0	0	2	
海南	9	0	8	0	0	0	0	0	0	0	KUMATORI向日美	8	2	8	2	0	0	0	0	0	
海南東	40	5	45	7	1	0	5	0	0	0	りんくう泉佐野	16	3	16	3	0	0	0	0	0	
海南西	16	1	16	1	0	0	0	0	0	0	羽衣	15	1	16	0	1	0	3	0	1	
Rotary E-Club Sunrise of Japan	7	2	7	2	0	0	0	0	0	0	和泉	22	0	22	0	0	0	0	0	0	
和歌山	73	1	75	1	1	0	3	0	0	1	泉大津	44	3	44	3	0	0	1	0	0	
和歌山アゼリア	28	9	28	9	0	0	0	0	0	0	和泉南	57	2	57	2	0	0	0	0	0	
和歌山東	42	0	50	0	0	0	8	0	0	0	大阪金剛	13	1	12	1	0	0	0	0	1	
和歌山城南	37	1	36	2	1	1	1	0	0	2	高石	24	1	25	1	0	0	2	0	1	
和歌山中	21	0	21	0	0	0	0	0	0	0	高師浜	11	1	11	1	0	0	0	0	0	
和歌山北	29	1	33	1	1	0	4	0	0	0	堺	39	4	40	4	0	0	2	0	1	
和歌山南	70	4	74	6	0	0	4	0	0	0	堺東	16	2	16	2	0	0	0	0	0	
和歌山東南	35	5	35	5	0	0	0	0	0	0	堺泉ヶ丘	23	3	23	3	0	0	0	0	0	
和歌山西	9	1	10	1	1	0	1	0	0	0	堺中	20	3	20	3	0	0	0	0	0	
橋本	45	0	46	0	1	0	2	1	0	1	堺北	29	1	29	1	0	0	1	0	0	
岩出	23	1	24	1	0	0	1	0	0	0	堺おおいずみ	26	3	26	3	0	0	0	0	0	
河内長野高野街道	17	3	18	3	0	0	1	0	0	0	堺フェニックス	6	2	6	2	0	0	0	0	0	
粉河	16	1	15	1	0	0	0	0	0	1	堺清陵	22	4	21	4	0	0	0	1	1	
高野山	16	0	15	0	0	0	0	0	0	1											
羽曳野	10	0	10	0	0	0	0	0	0	0	ワールド大阪 ロータリーEクラブ	8	0	8	0	0	0	0	0	0	
河内長野	20	4	20	4	0	0	0	0	0	0											
河内長野東	21	1	21	1	0	0	0	0	0	0	計	1,578	120	1,611	125	9	1	54	4	0	



クラブ数	2022年7月1日 会員数				2022年10月末 会員数				10月入会				10月退会				増減			
	男性	1,458	女性	120	男性	1,486	女性	125	男性	8	女性	1	男性	4	女性	0	男性	4	女性	1
65	1,578				1,611				9				4				5			

クラブを成功に導く 会員増強 みんなを温かく受け入れるクラブづくりを！

2022-2023 年度 国際ロータリー第2640地区

MY ROTARY 登録状況 [2022年11月24日現在]

2640地区	会員数	登録人数	登録率
2022年11月24日	1,612	712	44.17%

1 分 区	クラブ名	会員数	登録人数	登録率
	串本	6	1	16.7%
	那智勝浦	11	3	27.3%
	新宮	50	16	32.0%
	白浜	10	6	60.0%
	田辺	84	50	59.5%
	田辺東	37	10	27.0%
	田辺はまゆう	32	10	31.3%
	分区計	230	96	41.7%

	クラブ名	会員数	登録人数	登録率
3 分 区	Rotary E-club Sunrise of Japan	8	7	87.5%
	和歌山	75	51	68.0%
	和歌山アゼリア	28	7	25.0%
	和歌山東	50	34	68.0%
	和歌山城南	36	10	27.8%
	和歌山中	21	6	28.6%
	和歌山北	33	16	48.5%
	和歌山南	74	14	18.9%
	和歌山東南	35	11	31.4%
	和歌山西	10	1	10.0%
	分区計	370	157	42.4%

5 分 区	クラブ名	会員数	登録人数	登録率
	羽曳野	10	2	20.0%
	河内長野	20	20	100%
	河内長野東	21	2	9.5%
	松原	14	8	57.1%
	松原中	24	7	29.2%
	美原	4	0	0.0%
	大阪狭山	8	6	75.0%
	太子	17	11	64.7%
	富田林	34	20	58.8%
	区分計	152	76	50.0%

7 分 区	クラブ名	会員数	登録人数	登録率
	羽衣	16	9	56.3%
	和泉	22	5	22.7%
	泉大津	44	19	43.2%
	和泉南	57	10	17.5%
	大阪金剛	12	10	83.3%
	高石	25	10	40.0%
	高師浜	11	8	72.7%
	分区計	187	71	38.0%

目標達成	13クラブ
------	-------

100% 達成クラブ

貝塚ロータリークラブ

河内長野ロータリークラブ

2022-2023年度
登録率目標

65%

2 分 区	クラブ名	会員数	登録人数	登録率
	有田	26	14	53.8%
	有田南	24	3	12.5%
	有田2000	15	9	60.0%
	御坊	38	14	36.8%
	御坊東	13	7	53.8%
	御坊南	15	5	33.3%
	海南	8	5	62.5%
	海南東	45	39	86.7%
	海南西	15	1	6.7%
	分区計	199	97	48.7%

4 分 区	クラブ名	会員数	登録人数	登録率
	橋本	45	4	8.9%
	岩出	24	7	29.2%
	河内長野高野街道	18	10	55.6%
	粉河	15	9	60.0%
	高野山	15	8	53.3%
	分区計	117	38	32.5%

6 分 区	クラブ名	会員数	登録人数	登録率
	泉佐野	22	9	40.9%
	貝塚	14	14	100%
	貝塚コスモス	11	7	63.6%
	関西国際空港	17	4	23.5%
	岸和田	32	8	25.0%
	岸和田東	40	25	62.5%
	岸和田南	7	1	14.3%
	KUMATORI向日葵	8	4	50.0%
	りんくう泉佐野	16	7	43.8%
	分区計	167	79	47.3%

8 分 区	クラブ名	会員数	登録人数	登録率
	堺	41	12	29.3%
	堺東	16	13	81.3%
	堺泉ヶ丘	23	6	26.1%
	堺中	20	5	25.0%
	堺北	29	10	34.5%
	堺おおいずみ	26	21	80.8%
	堺フェニックス	6	5	83.3%
	堺清陵	21	20	95.2%
	分区計	182	92	56.9%

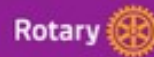
	クラブ名	会員数	登録人数	登録率
ワールド大阪		8	6	75.0%
ロータリーEクラブ				

12月の行事予定表

日 付	行 事	場 所
3(土)	ガバナー補佐・幹事合同会議 15:00～	けやきONE401
	ガバナーエレクト壮行会 18:00～20:00	ホテルグランヴィア和歌山
7(水)	地区地域社会奉仕委員会会議 16:00～17:30	ガバナー事務所
10(土)	イヤーエンドパーティー 12:00～	関空泉大津ワシントンホテル
11(日)	第3回派遣候補生オリエンテーション	けやきONE401
15(木)～16(金)	RLI研修 第5回 19:00～21:00	ZOOM
17(土)	グローバル補助金奨学生面接	ガバナー事務所
27(火)	IAC国内研修(～29日)	宮城県気仙沼市・陸前高田市



つながりを築いて、世界に変化をもたらそう



ガバナー月信の表紙写真、活動の情報をお寄せください。

ガバナー月信は、地区と地区内クラブの情報交流を促進し、各クラブの運営、活動に活かしてもらうため、情報収集に努めています。皆様のご協力をお願いします。

お寄せいただける活動情報は、文書面、資料、写真をメールでガバナー事務所へご送付ください。また、毎号の表紙写真もご提供ください。

ガバナー月信は、国際ロータリー、地区、クラブの情報をとりまとめ、掲載情報の収集等、紙面の充実に努めてまいります。皆様のご協力をお願いします。

地区IT・ガバナー月信委員会

ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY

国際ロータリー

第2640地区 ガバナー事務所

〒640-8331

和歌山市美園町3-34 けやきONE 301号室

TEL (073) 426-2640

FAX (073) 426-2660

e-mail : morimoto@rid2640g.com

JR和歌山駅西口から徒歩7分

阪和道、和歌山インターから約10分

